

令和2年度第2回海老名市市民活動推進委員会（議事録）

- 日時
令和2年9月25日（金）午前10時から午前11時45分まで
- 場所
海老名市役所4階 401会議室
- 出席者
市民活動推進委員会6名
堀尾委員長、渋谷副委員長、瀬戸委員、大島委員、勝田委員、木下委員

事務局4名

市民活動推進課長 中島 真二

市民活動推進課市民活動推進係長 古賀 雅敬

市民活動推進課市民活動推進係主事 丸橋 千春

市民活動推進課市民活動推進係主事補 山田 隼

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 事業視察報告
特定非営利活動法人 grand-mere
- 4 議題
 - (1) 審査申込みの手引き作成における検討課題について
 - (2) 今後の検討課題について
 - (3) 今後の委員会スケジュールについて
- 5 今後の予定について
 - (1) 事業視察
 - (2) 第3回の海老名市市民活動推進委員会
- 6 閉会

○ 会議の状況

1・2 開会及び委員長あいさつ	
【事務局】	本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。これより、令和2年度第2回海老名市市民活動推進委員会を開催いたします。はじめに、委員長よりご挨拶をお願いいたします。
【委員長】	今回の会議は、来年度の海老名市市民活動推進補助金制度の募集に関する検討会議になります。より良い制度にしていきたいと考えておりますので、皆さまご協力のほどよろしくお願いいたします。
【事務局】	ありがとうございます。それでは、次第3の事業視察報告に移ります。
3 事業視察報告	
【事務局】	(資料1に基づき事業視察結果を説明) 何かご質問等はございますか。無いようですので、次第4の議題に移ります。これより先の議事進行は、規定により委員長をお願いいたします。
4・5 議題及び今後の予定について	
【委員長】	議題(1)審査申込みの手引き作成における検討課題について、事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(資料2-1から2-3に基づき、次の5件を説明) 1 説明会を設けず市ホームページで資料を公開したいこと 2 申込の際に、メール等で事前確認ができるようにしたいこと 3 審査方法について合計点で採点したいこと 4 審査スケジュールについて委員各位の予定を確認したいこと 5 申込団体へ新型コロナウイルス感染症対策をお願いしたいこと
【委員長】	審査申込みの手引き作成における検討課題が5件ありますので、1件ごと検討していきたいと思っております。それでは、1の説明会について、何かご意見がある方は発言をお願いいたします。
【委員】	ホームページを見ることができない方には、どのように周知していくのでしょうか。
【事務局】	資料等を市内公共施設に配架する予定です。また、希望者には窓口等でも説明いたします。
【委員長】	郵送やデジタルサイネージでも周知した実績がありますが、今年度実施する予定はありますか。
【事務局】	デジタルサイネージについては、広報えびなと併せて実施します。
【委員長】	広報えびなについて、いつも広報の記事が小さいように思いますが、大きくすることはできないのでしょうか。
【事務局】	なるべく大きく掲載されるよう調整します。
【委員長】	ホームページの閲覧数を把握することはできますか。
【事務局】	閲覧数の確認はしておりませんが、ホームページ所管課では確認可

	能で、神奈川県内でかなりいい評価を受けております。
【委員】	ホームページ内で特定の記事を検索することは可能ですか。
【事務局】	可能です。
【委員】	当補助金を知っている団体にとってはどのような媒体で周知してもそれほど問題にならないと考えますが、この補助金の知名度が問題と考えています。10年にわたり当補助金を実施してきましたが、事務局としてどの程度認知されていると考えていますか。
【事務局】	認知は増えてきていると考えていますが、まだ制度を知らない団体が多数いるとも考えています。市民活動団体同士での横のつながりが不足していることが今後の課題だと考えています。地域のコミュニティセンター等で活動している団体への周知を強化したいと考えています。
【委員】	募集期間だけ制度を周知するのではなく、ビナレッジに入って左側のスペースで年間を通して周知をしてはどうでしょうか。
【事務局】	その様な発想はありませんでした。検討させていただきます。
【委員】	この補助金は、NPOのみ申請可能なのですか。
【事務局】	NPOを含めた市民活動団体が対象となります。
【委員】	市では、市内の市民活動団体を全て把握できていますか。
【事務局】	全ては把握しておりません。実際に活動している団体は多岐にわたると思います。今回は初めて説明会を開かないので、今まで以上に制度の周知をしていきたいです。新型コロナウイルス感染症によって継続さえままならない団体もいると思われるので、積極的に当補助金を活用してほしいと考えています。
【委員長】	以前、営利目的で申請してきた団体がありました。今ではその様な申請団体はいませんが、制度自体を知らない団体もいると思いますので、事務局にはビナレッジなどを活用して周知を強化してほしいです。
【事務局】	実施を検討します。
【委員長】	是非お願いします。では、今年は説明会をせずホームページで公開するということでもいいですか。 (委員了承) では、続いて2の申込方法に移ります。何かご意見等がある方は、発言をお願いいたします。
【委員】	申込は、紙媒体での提出ですか。
【事務局】	押印の必要があるため、申込は、書類でのみ受付可能です。提出時に書類の誤りがありますと再提出になり手間がかかるため、事前にメール等で内容を確認することで効率化を図りたいと考えています。
【委員】	事前確認の際、修正はどのように行う予定ですか。
【事務局】	申込書類のデータに、赤の見え消しで修正を行います。来庁された

	場合は、窓口で待たせてしまいますが、事前にメールで確認することで、団体の負担軽減になるとも考えています。
【委員】	今までと申込方法は変わらず、メールで事前確認ができるようになるということでしょうか。
【事務局】	ご認識のとおりです。紙媒体での申込みになりますが、事前に確認が取れていれば郵送で提出していただいても可能としたいと思います。
【委員】	メールで事前確認ができるようになる。という伝え方をしないと誤解を生むのではないのでしょうか。また、直接説明しないため、細かいニュアンスが伝わりにくいと思います。
【事務局】	周知の際、書き方等には十分気を付けていきます。
【副委員長】	申込書類が全く書けていない団体や書き方が分からない団体には、どのように説明していくのでしょうか。
【事務局】	こちらから記入例等を示していき支援していきたいと思います。また、個別の相談期間に詳しくご説明したいと思います。
【委員長】	メールでの添付書類でやり取りをしていくことになるとと思いますが、セキュリティには十分気を付けていただきたいです。
【事務局】	市では厳重なセキュリティ対策をとっています。
【委員長】	それでは、申込方法については紙での提出になりますが、メールで事前確認ができるということでしょうか。 (委員了承) では、続いて3の審査方法ですが、事務局より再度説明をお願いいたします。
【事務局】	(採点方法を、従来どおり1次審査、2次審査ごとに採点するのではなく、合計点で採点したいことについて説明)
【委員】	申請団体が多かった場合、1日でプレゼン審査が終了しないのではないのでしょうか。
【事務局】	審査時間については、団体ごとの持ち時間が決まっているので1日で終わると考えていますが、あまりにも多ければ検討が必要になります。
【委員】	営利目的や趣旨とあまりにもかけ離れている団体は、書類審査で落としてもいいのではないのでしょうか。
【事務局】	内容は、申込時に事務局が確認します。その際に営利目的等が判明するかと思います。
【委員】	採点方法等はどこまで公表するのですか。
【事務局】	採点項目や合格基準は一般公表しております。採点の内容は公開しませんが、不合格となった団体には、合格に至らなかった理由や今後のアドバイスなどを通知します。
【委員】	一般の方の傍聴はできますか。

【事務局】	傍聴は可能ですが、審査時には非公開になります。
【委員長】	書類審査とプレゼン審査は、同日に実施するのでしょうか。
【事務局】	第1回会議にて委員の皆様のご意見を伺ったところ、別日で行った方が良いだろうと判断しました。
【委員】	プレゼン審査の持ち時間は何分でしょうか。
【事務局】	団体からの説明8分、質疑応答7分の合計15分です。
【委員】	例年、プレゼン方法はどのような感じでしょうか。
【事務局】	パソコンを使用する団体もあれば紙媒体で説明する団体もいます。
【委員】	書類審査とプレゼン審査を分ける必要はあると思いますが、合計点にする必要が無いと考えます。合計点にした場合に書類審査が満点だった場合、プレゼンが低評価でも合格してしまうかもしれません。書類審査では内容の確認を行い、プレゼン審査時に書類と併せて採点し、それで合否を出してはどうでしょうか。
【委員長】	賛成です。書類審査では、書類内容を確認して団体への理解を深めるとともに質問箇所をまとめるだけにしたいと考えています。
【副委員長】	昨年度は書類審査で合否を出していましたが、今回のようにプレゼン審査を全ての団体が受けるのであれば点数を分ける必要はないと思います。
【委員】	プレゼン審査はどこで行っているのでしょうか。
【事務局】	市の会議室や、ビナレッジの会議室で行っています。
【委員】	傍聴がどれくらい来ているのか、把握していますか。
【事務局】	出番を控えた団体や興味をもった団体、また、一般の方が傍聴されています。
【委員】	傍聴は周知の一環ですので、広いスペースを確保してほしいです。
【事務局】	十分なスペースを設けるようにします。
【副委員長】	近隣の自治体は、このような補助金の審査でプレゼン審査を実施しているのでしょうか。
【事務局】	実施していると聞いています。
【委員長】	藤沢市では大学生向けの補助金があり、発表会も行っていると聞いています。
【事務局】	市民活動団体同士のつながりを強化していきたいので、市民・団体向けの発表会を実施したいと考えています。
【委員】	海老名市に大学はありますか。
【事務局】	以前、市の政策で大学誘致を行いました。スペースや交通の便の問題から実現しませんでした。
【委員長】	では、書類審査での採点について、皆様どうでしょうか。
【委員】	採点はせず、書類審査では団体への質問等をまとめる場としたいと思います。
【委員】	今まで通り団体へ質問等の通知は行いますか。

【事務局】	同様にいきます。
【委員】	今年度は申請してくる団体が少ないのではないのでしょうか。
【事務局】	来年度の事業になるので、新型コロナウイルス感染症が今以上悪化するのではあれば減少する恐れもある一方で、打撃を受けたので補助金の交付を受けたいという団体もいると思います。また、今回は見送り来年交付を受けたいという団体もいると思います。
【委員長】	では、書類審査では採点を行わないということで良いのでしょうか。 (委員了承) 続いて4の審査スケジュールについてですが、事務局より再度説明をお願いいたします。
【事務局】	(審査スケジュール案について説明)
【委員長】	質問等がある方は発言をお願いいたします。 (意見等無し) では、スケジュールについては事務局提案どおりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。 (委員了承) 続いて5の新型コロナウイルス感染症対策についてですが、何かご意見等がある方は、発言をお願いいたします。
【事務局】	申請団体へ新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや手指消毒を実施するようお願いしたいです。注意喚起をしっかりと行っていき、パンフレット等にも掲載していきたいと考えています。
【委員長】	では、事務局提案どおり申請団体に新型コロナウイルス感染症対策をお願いするという事よろしいでしょうか。 (委員了承) これで議題(1)審査申込みの手引き作成における検討課題について終了しましたが、全体を通して何か意見等はございますか。 (意見等無し) 無いようですので、議題(2)今後の検討課題に移ります。事務局より説明をお願いします。
【事務局】	(資料3に基づき、次の2件について説明) 1 2次募集の実施検討について 2 市民活動団体の活性化を図るための案について
【委員長】	こちら2件の検討課題があるため、1件ごとに検討していきたいと思いますが、まず、1の2次募集の実施検討についてですが、以前、2次募集を実施した際には、8月頃募集したと記憶していますが、スケジュールはどのような感じでしょうか。
【事務局】	準備次第では8月以前にできるかと思います。1次募集は1月からの募集を行っているので、4月に総会がある団体などは、事業が決まっていないということもあります。2次募集を実施出来ればそのよう

	な団体も申請ができるようになるかと考えていますが、委員の皆様の負担もありますので、次回の会議ではスケジュール案を出し皆様のご意見を伺いたいと思います。
【副委員長】	2次募集の考え方についてですが、予算が余ってしまったので実施するのと、1次で募集できない団体を救いたいという2種類の考え方があると思いますが、事務局としてはどう考えていますか。
【事務局】	事務局として正直な意見を申しますと、両方の問題を抱えておりますので、2次募集のあり方についても委員の皆様と検討していきたいと考えています。
【副委員長】	2次募集を実施すると、年間を通しての事業になってしまうかと思えます。他の業務との兼ね合いもあるかと思えますが、大丈夫でしょうか。
【事務局】	委員報酬等の予算にも関わりますので、次回会議ではスケジュールを提示し検討していきたいと考えています。
【委員長】	では、1の2次募集の実施検討については、次回会議にて事務局よりスケジュール案を出していただき、検討していくということでしょうか。 (委員了承) 続いて2の市民活動団体の活性を図るための案について、何か意見等がある方は、発言をお願いいたします。
【事務局】	2の市民活動団体の活性化についてですが、団体の活動を発表する場を設け、交付団体同士のつながりを形成、強化するために、事務局としては推進していきたいと考えております。初めての試みになりますので、他市の実施状況等も参考にしながら委員の皆様と審議して頂ければと思います。
【委員】	これまでに実施したことはないのですか。
【事務局】	実施しておりません。事業視察を実施し委員の皆様には共有していましたが、団体同士が交流する機会は設けておりません。
【委員】	実施した方が良いと思います。当補助金制度は要望があって始めたのですか。それとも、市が主体となって始めたのですか。
【事務局】	10年以上前に条例が改正された際に、市が主体となって始めました。
【委員】	報告会もいいが、ワークショップ等も実施すると市民活動団体もさらに活性化していくと思います。
【委員】	他のイベントや講演会の中で時間を設けてみてはどうでしょうか。
【事務局】	庁舎内でもそのような活動はしていませんでした。市民の方が集まる場所での周知は有効だと考えますので、検討します。今回いただいた意見を基に、議論を深めていきたいと思えます。
【委員長】	2次募集や市民活動団体のPRというのは日頃の課題なので、委員

	の皆様にも考えておいていただきたいです。続いて、(3) 今後の委員会スケジュールに移ります。事務局からお願いします。
【事務局】	今後の委員会スケジュールについてですが、事業視察の日程については、後日改めてご連絡いたします。次回の市民活動推進委員会は10月20日火曜日で行いたいと思います。時間や場所については、後日ご連絡いたします。
【委員長】	では、これにて本日予定していた議題を終了しましたので、進行を事務局へお返しします。
6 閉会	
【事務局】	それでは皆様、お疲れ様でした。 これをもちまして、第2回海老名市市民活動推進委員会を終了いたします。ありがとうございました。